

## 質疑応答

### <質問1>

Q:難産の場合に子牛だけでなく母牛の血液 pHも低下するのでしょうか? pHが低下する場合、初乳の質にも何らかの影響があるのでしょうか?

A:当然、初産でお産に時間が掛かり、沢山発汗すればアシドーシスになります。なので、難産の場合は、母牛の血液pHも下がる可能性はあると思います。しかし、そのことが乳汁まで影響するかどうかについては、わかりませんが、初乳の質については特に問題ないと今の段階では考えています。

### <質問2>

Q:へその緒の消毒は刺激が強くないほうが良いということですが、石井先生の見解を教えてください。

A:へその緒の消毒については、例えばポピドンヨード(ヨード系の消毒薬)の濃度は濃ければ良いというものではありません。一番効果があるのはたしか1%程度であり、濃度はさほど濃くありません。逆に薄ければ良いというものでもなく、市販されている薄目のヨード剤が丁度良いのではないかと考えています。

### <質問3>

Q:分娩直後にオキシトシンを打ったときに、催乳効果があると思いますが、すぐ搾乳したほうが良いのでしょうか?

A:講演の中でも説明したとおり、お産の時にオキシトシンは沢山出て、それが子宮を収縮させています。オキシトシンの作用として、乳を出す作用もありますから、お産の直後にオキシトシンを打った場合、その反射(作用)が見られることもあります。ただし、お産の時には大量のオキシトシンが出るので、それに対してはある一定の時間が経たないとオキシトシンの反射は起こらないと考えています。乳を出す作用について気がかりな点もあり、分娩後2時間でオ

キシトシンを打つ場合には、その反応が出てくる可能性はあると思います。しかし、オキシトシンを打ったから、わざわざ搾乳の準備をして、搾乳する必要はないと思って考えています。むしろ搾乳することで、低カルシウム血症が進んだりもする可能性もあります。オキシトシンを打った直後に搾乳をするのではなく、時間をおいて搾乳する事で、オキシトシンが自然に出ますから、それによってもう一度子宮が収縮してくれるという事も考えられます。搾乳のタイミングはあまり考慮しなくて良いと考えます。

### <質問4>

Q:分娩後に打つオキシトシンはどの程度の量を打てば良いのでしょうか。

A:今回説明した取り組みのオキシトシンの投与量は5ミリリットル(50単位)です。この量は通常の注射の量1アンプル量になります。これを1本打ってもらえれば良いということです。分娩時に牛が放出するオキシトシンの量は、おそらくアンプル4本くらいの量になります。なので、注射する量は沢山ではありません。分娩後、乳を下ろさない場合に使うオキシトシンもアンプル1本(50単位)です。

### <質問5>

Q:引っ張り癖のある農家では、牛が自分で踏張らず助産してもらうことを要求するように思われます。牛を引っ張る(助産する)ことが常態化している農家はどのように対処したら良いのか? また、そう言う農家さんで事故が無いのなら対処する必要がないという認識で良いのでしょうか。

A:確かに人が近くにいるときは、牛は人の顔をみながら助産してもらうことを望む話は、良く聞く話です。自分も分娩監視していて「お前いい加減に引っ張れよ」ということも無いわけではありません。

私の経験を話します。お産のデータを取るために分娩事故率が10%の農場で、分娩監視を2週間

に渡り、昼夜行ったことがあります。その際、できるだけ自然分娩するよう牛を見ていました。このときは、できるだけ牛に刺激を与えないよう監視をしていました。この農場は引っ張り癖がありましたが、この2週間分娩事故はゼロでした。分娩に手を出さないからと言って、お産が順調に進まないということは無いと考えます。

#### <質問6>

Q:逆子の場合、臍帯が切れる、若しくは引き延ばされて細くなっている可能性が想像できるので早く引っ張り出す必要がある?と思うのですがどうでしょう。

A:逆子は、獣医学的な分類からいくと異常産ではありません。逆子であっても、臍帯が早くに切れる可能性は低いと思います。

逆子が問題となるのは、頭が出ないで呼吸が始められず、産道に入っている胎水を誤飲する可能性があることです。逆子の場合、私は出来るだけ逆さに吊る様なことを行い対応します。

臍帯というのは弾力性のあるもので、ゴムの様に伸びます。分娩時に臍帯は伸びて、伸びて、伸びきって最終的にプツンと切れます。

切れた臍帯の先はペタッと着くので、出血が起こらない状態になります。だから臍帯は、ゆっくり時間を掛けて伸ばされて、自然に切れるのが一番良いと思います。それを、一気に引っ張ることで臍帯はプツンと切れます。この場合、出血が起きやすい状態になります。

私は、逆子であっても初産で1時間は様子を見た方が良いと思いますし、引っ張るタイミングとしては、太ももがある程度出て、尻尾が見え隠れするような状況であれば引っ張って良いと思います。それよりも前の段階で引っ張るのは難産を引き起こす可能性があるので、気をつけたほうが良いと考えています。

#### <質問7>

Q:初乳製剤を2袋溶解して飲ませた場合、浸透圧の差などで子牛が下痢する可能性はないのでしょうか。

A:2袋飲ませるときには、お湯の量は倍にします。初乳製剤の量と溶解する濃度はそれぞれ確認してください。初乳製剤を2袋一度に使う場合は、少し濃い物が出来る可能性があると思います。しかし、最初に飲ませる初乳の濃度が下痢に直結することは考えなくて良いと思います。

初乳が濃いということは、それによって胎便の排出効果があると言われていています。最初は下痢っぽくなくても、後はちゃんと治るはずですから、そこは問題ないと思っています。